

【6月通常会議日程】

- 2(月)開会、議案提案
- 9(月)~12(木)
質疑・一般質問
- 13(金)予算決算常任委員会
- 16(月)予算決算常任委員会・
常任委員会
- 18(水)特別委員会
- 20(金)討論・採決

傍聴は自由にできます。
議場の改修がおこなわれ、
傍聴しやすくなりました。
ぜひ議場にお越しください!



ご意見・ご要望を
お寄せください。
info@otsu-jcp.net



大津市議会6月通常会議 6月2日から

大津市議会では5月19日の
招集会議に続いて、6月2日
から今年度最初の通常会議が
開催されます。

主な議案は、田上市民セン
ターに太陽光発電を設置する
費用などを盛り込んだ1億1
千万円あまりの一般会計補正
予算をはじめ、2015年度
からの軽自動車税の増税関連
議案、小学校へのエアコン設

置の工事契約議案など24件が
提案・審議されます。

日本共産党大津市会議員
団は、消費税増税や年金改悪
国保料値上げなど市民生活が
厳しさを増す中で、市民生活
を守る立場から論戦、審議を
進めます。

9日からの一般質問など、
傍聴・インターネット視聴な
どで、ぜひご覧ください。

教育の自主性を守ろう 市議団が市教育委員と懇談

現在、国会において、教
育委員長と教育長を兼ねる
新教育長を市長が任命し、
市長が作成する教育大綱に
基づいて教育委員会が教育
行政を進めるなど、教育委
員会制度を形骸化して、教
育への政治介入をもたらす
法の改定が審議されていま



さる5
月15日
日本共
産党が
発表し
たアピールもお読みいただき、
市の教育委員さんと党市議団
との懇談会を行いました。

懇談会では、「現行制度のも
とで運用を改善するべき」、
「集権的な教育行政から分権
的に変えていくことが必要」、
「競争をある学力テストの
平均正答率の公表はすべきで
ない」などの意見も出され、
交流を深めました。
いじめ問題以降、教育委員
会の形骸化を変えようと、教
育委員さんが学校現場に足を
運ぶなどして取り組んでいる
熱意が伝わってくる懇談でし
た。

軽自動車税増税関連の議案や 補正予算などを審議予定

◆補正予算の主な内容

- (金額は四捨五入)
- 田上市民センター太陽光システム導入
(3,032万円)
 - 法人市民税減税関連システム改修
(173万円)
 - 幼稚園、保育園のあり方検討費
(50万円)
 - 臨時福祉給金・子育て世帯臨時特例給
付金支給事業：コールセンター開設費用
(4,672万円)
 - 高齢者労働能力活用(緊急雇用2名)
(652万円)
 - 道路新設改良費(旧富士見市民センター
関連など)(880万円)
 - 下水道事業TPPなど官民連携検討事業
(1,999万円)



◆主な一般議案

- 市税条例の一部改正(2015年度から
の軽自動車税の税率引き上げなど)
- 〔一例〕原付：1,000円~2,500円
2,000円~3,700円
 - 自家用乗用軽自動車：
7,200円 10,800円
 - スカイプラザ浜大津の使用料値上げ
〔一例〕スタジオ1：30分使用料
1,010円 1,270円
(2017年度から1,310円)
 - 練習室1：200円 250円
(2017年度から270円)
 - 市営駐車場使用料の一日あたり上限設
定を試行する条例改正
 - 8月から11月まで明日都浜大津(一日
750円)、大津駅南口駐車場(1,050
円)、膳所駅前駐車場(900円)の上
限を設定して利用状況を調査する。
 - 大規模改修校をのぞく市内31小学校へ
のエアコン設置工事契約
 - 太田廃棄物最終処分場建設工事の労務
単価見直しによる契約金額の変更



→懇談会の様子
(裏面につづく)

『安倍教育改革』の暴走と矛盾

日本共産党文教委員会・

藤森毅さんの講演会に参加して

岸本のり子市議



安倍首相が教育委員を弱体化

させようと暴走しています。狙いは、政治が教育に介入できる仕組みを作り、戦前の侵略戦争と植民地支配を美化する「道徳教育」や「教科書」を教え込み、国のために命を投げ出す子どもをつくること。異常な競争教育に追いやり一部のエリートをつくり出すことです。

越市長もまた、国会で参考人席に立ち、教育委員会を廃止すべきと持論を唱えていますが、第三者調査委員会報告書や多くの教育学者が、本来の教育委員会の役割が發揮出来る改革こそ必要と指摘しています。

さらに今年、来年は小・中学校で使う教科書の選定年度となつていますが、世界各地で戦争当時の公文書が次々に公開され、日本の侵略戦争の実態が明らかになる中で、日本国民だけが真実を知らされていないこと、インターナショナルな人材を叫ぶのなら、国際的な民主主義に立つことがまづ必要と痛感しました。また、学力の向上は「子どもの貧困」の解決と勉強の意義を子どもが感じられるようにすることです。

何よりも子どもの人権を保障した教育へ、思想信条を超えて関係者が共同することが求められていると感じました。

(岸本典子)

市が今年度就学援助対象者は前年基準で認定するつもり

昨年度から、国は生活保護費の基準額引き下げを進めています。これにともなう大津市で実施している低所得家庭への就学援助費の対象者が狭まることとが大きな問題となっていました。

大津市では生活保護基準の1.2倍までの家庭を就学援助費の対象としており、新基準では102件153人が支給対象から外されることになりました。今年度は特例として前年度基準で認定されることとなりました。

あわせて、消費税率アップ

生活保護基準引き下げの影響回避、消費税増税分の上乗せ

プにともなう援助費の増額をおこなうことになりました。これらの必要経費は約1千500万円と見込まれています。

日本共産党市議団は政策要望や、石黒市議などが議会の質問で取り上げ、実施を要求してきたものです。



今年度議会役員が決まりました

佐々木市議が監査委員、杉浦市議が生活産業常任委員長などに選出

5月19日におこなわれた招集議会で今年度の議会役員が決まりました。

正副議長は自民党系の湖誠会が独占、監査委員は共産党と公明党が就任することになりました。

党市議団はこれまで、第2会派副議長、第3会派から監査委員を選出するなどのルール化に湖誠会や市民ネットなどが合意をしてきた経過から、副議長ポストを要求。実現はなりませんでした。今後の改善へ向けての検討を行うことで、今年度議長をのぞく人事に合意しました。

日本共産党の各議員の役職は次の通り

塚本市議：市議団団長、教育厚生常任委員、公共施設対策特別委員会副委員長

杉浦市議：市議団幹事長、議会運営委員、生活産業常任委員会委員長、スポーツ推進等対策特別委員

石黒市議：市議団副幹事長、議会運営委員、教育厚生常任委員会副委員長、スポーツ推進等対策特別委員

佐々木市議：党市議団幹事、監査委員、総務常任委員、防災対策特別委員

岸本市議：生活産業常任委員、防災対策特別委員

黄野瀬市議：施設常任委員、公共施設対策特別委員、都市計画審議会委員

今年度国保料値上げ幅5%へ圧縮

市民からは、それでも負担重いの声

2月市議会で、今年度の国民健康保険料の値上げが8%程度と見込まれる予算が可決されました。その後、昨年度決算で7億7千万円余の黒字が見込まれることとなり、県や国への返還金などを除く一部を使って、国保料の負担軽減が図られることとなりました。

その結果、保険料の値上げは、夫婦と子ども一人の世帯で年額1万6000円余(4.9%)となる見込みです。

党市議団は国保をよくする会のみなさんと一緒に国保料値上げ中止を求めて署名運動などに取り組んできましたが、消費税増税や年金引き下げにくわえ、

国保料の5%もの値上げは市民生活をますます困難に追いやるものです。払える保険料へと、引き下げを求めてひきつづきがんばります。



→大津の国保をよくする会のみなさんと、大津市へ申し入れをする党市議団